

## こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。  
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A: たいへんよい  
B: よい  
C: 一部検討を要する  
D: 改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<p>・職員は、各種会議毎に教育・保育理念及び基本方針を唱和しているが、全職員に周知されるよう今後もしっかり話し合い確認しあって共通理解をしていく。</p> <p>・利用者には、玄関の掲示板や毎月の園だよりやホームページで知らせているが、もっとわかりやすい周知方法はないか検討していく。</p>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<p>・子ども一人一人への細やかな対応を心掛け発達や個性など様々な視点から観察し、それぞれに合った援助の工夫をしている。</p> <p>・地域の人々との交流の機会を設け、子どもの生活が豊かになるよう努めている。</p> <p>行事後は評価反省を行い職員で話し合いをしている。</p>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<p>・子ども自身に“自分は大切にされている”という安心感や信頼感を育み、それを基盤に身近な環境に主体的に関わっていけるようにする。子どもの成長にとって実体験が大切であるので、その体験が豊かになるために、子どもが自ら、見たい、やりたい、知りたいと思えるような環境を工夫していく。子ども達が主体的に活動できるように、子どもの発達や興味関心度に合わせた遊び方が行われているか、再度環境を構成していく。</p> <p>・地産地消を心掛け地元の食材を積極的に取り入れ、常にあたたかい食事を提供することで子ども達が楽しく食べられるように環境を整えている。また、食に関わる体験を豊富に計画し、命の大切さ、食に関わる人への感謝等が身につけていく。</p>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>・小学校との連携は以前からいろいろ取り組んでいるが、一歩進み一年生の授業見学を予定していたが今年度は感染症の関係でできなかった。学童クラブとの交流は新しい取り組みで今後も取り入れていきたい。小学校への接続がスムーズにいくよう相互に連携を図っていく。</p>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・保護者とのコミュニケーションを大切にし、日々の積み重ねから信頼関係を築いている。クラス懇談会の他、話し合いの場を設けることが必要な場合は個別に対応している。</p> <p>・毎週5日間、地域の未就園児を対象に園を開放し、園児や子育て家庭との交流、離乳食の提供や看護師・栄養教諭による育児相談等を設け、様々な情報の提供を行っている。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			<p>・看護師が配置され、子どもの健康状態で気がかりなことを相談できる体制が整っている。また、感染症が発症した場合はメールや玄関のモニターで速やかに保護者に知らせている。</p> <p>・アレルギー疾患児には保護者と定期的に面談をし、半年毎に医師の診断書の提出をしてもらっている。</p> <p>・安全管理・危機管理のマニュアルを見直し、意識の徹底に努めている。不審者対策、風水害の避難訓練を年1回行っている。</p> <p>・研修への積極的参加を働きかけている。研修の内容によっては職員全体で話し合いの場を設け質の向上が図れるようにしている。</p> <p>・プライバシー保護や知り得た事柄の秘密保持に努めている。</p> <p>・苦情解決の体制は整っているが保護者アンケートより周知理解されていない保護者が多かった。来年度はわかりやすい方法で周知を進めていく。</p> <p>・毎年1回、自己評価を行って自己の振り返りかえりを行っている。更に職員間で話し合いをもち協働体制の意識が持てるようにしている。来年度は年3回自己評価を行い、より一層教育・保育の改善が図られるようにしていく。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的にしているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか			○		
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			